

第7回 泉地域審議会会議録

開催日時	平成19年10月16日 13時30分～
開催場所	泉支所3階会議室

■出席委員 15名

会長	澤田 一誠	委員	黒木 智光	委員	橋本 辰子
委員	井上 泰子	委員	白石 安記	委員	藤崎 英信
委員	上田 希久代	委員	谷口 清和	委員	松本 洋子
委員	緒方 勢一	委員	寺田 浩	委員	宮崎 友徳
委員	木場 千穂子	委員	中嶋 哲哉	委員	山本 實

■欠席委員 2名

副会長	山田 豊	委員	廣岡 勝信
-----	------	----	-------

■出席職員

支所長	田上 高広	企画振興部長	小笠原 了
総務課振興係長	東坂 宰	地域振興課長	米田 健二
〃 主任	岩田 剛	〃 課長補佐	澤田 宗順
〃 主事	渡邊 博	企画調整課長	福永 知規
産業振興課長	上田 精一	〃 企画係長	田中 孝
建設課長	岩村 敏博	〃 主事	坂部 功泰
健康福祉課長	下辻 雄二	財政課長	山田 忍
市民環境課長	林 マツ子		

■傍聴者

一般傍聴者	0名	報道機関	0名
-------	----	------	----

■協議事項

1. 議題

- ①八代市総合計画策定状況について（報告）
- ②住民自治によるまちづくり」基本指針について（報告）
- ③その他
 - (1)支所における日直業務の変更について
 - (2)次回の開催について

- (支所長) 挨拶をなし、開会を宣する。
- (事務局) 出席者数により本審議会が成立する旨を述べ、会長に挨拶を願う。
- (会長) 挨拶をなす。
- (事務局) 地域審議会の設置に関する事項の第7条第4項に基づき、会長に議長を願う。
- (会長) 地域振興部長に挨拶を願う。
- (部長) 挨拶をなす。
- (会長) 八代市総合計画策定状況について、事務局に報告を求める。
- (事務局) 資料に基づき、策定状況の説明・報告をなす。
- (会長) 説明・報告に関する意見・質問等はないか委員に問う。
- (委員) 案の第4部「地域の特性を活かしたまちづくり方針」において、西部・東部・南部という区分けがなされているが、泉・東陽・坂本を山間地といった具合に平坦地と区分し、それぞれの状況に応じた施策を施す必要があると思う。
- (会長) 西部地区・東部地区・南部地区とは大まかにどのあたりが該当するのかを含め、説明願いたい。
- (事務局) 中山間地と平坦地という考え方が基本になっているが、泉・東陽・竜峰の一部と、坂本・二見・日奈久を一緒に考えるのには無理があるということから、中山間地を2地区に分けたということである。
- (委員) 重点プロジェクトに5項目挙げられているが特色が見られない。八代市はこれだという特色が欲しいし、理解しやすいと思う。
- (事務局) この5項目については、住民アンケート、ワークショップ、地域審議会からの意見から、重要であると考えられる項目を分かりやすく示したものである。今後、出し方や分かりやすさを検討し、まとめていきたい。
- (委員) 平成29年度の推計人口が約122,000人であるのに対し、目標人口は130,000人である。この差7,800人の増加をどのような方策でカバーしていくのか説明願いたい。
- (事務局) 単一で賄えるものはないと思うが、企業誘致・観光振興・子育て支援等の施策を詰めていくことで、八代に住んでいただく人を増やし、目標人口に向けての人口増に繋げたい。
- (委員) 今後への要望として、観光についてであるが、日奈久・五家荘ともに重要な地域になると思われるが、これまで多額の予算をつぎ込んできたにもかかわらず、入り込み客が増加しない傾向にある。調査・分析という部分が行政には欠けているように思える。その反省を含めながら、中・長期的な展望、また、年度毎の迅速な対応をお願いしたい。
- (事務局) 計画推進の方策の中で、効率的・効果的な行財政の経営という部分に当てはまることかと思う。反省点等を含め推進していきたい。
- (会長) 他に意見等がないか委員に問う。
- (委員) なし。

- (会長) 住民自治によるまちづくり基本方針について、事務局に報告を求める。
- (事務局) 資料に基づき説明・報告をなす。
- (会長) 事務局の説明・報告について、意見・質問等はないか問う。
- (委員) 想定スケジュールの中で、平成21年4月に先行モデル地区スタートとあるが、可能な地区から随時スタートすることは可能か。
- (事務局) 住民の理解が必要であり、財政支援等の細かいところ等を含めた説明が必要。そのことから21年4月が妥当だと考える。
- (委員) 先行モデル地区には数の制限もあるのか。地区の希望があれば先行モデルとしてスタートできるのか。
- (事務局) 先行モデルとしてスタートしたい旨の地区の意向があれば、先行モデルとして活動していただきたい。
- (委員) 住民自治組織の立ち上げに伴う地域区分を考えると、状況により区分の方法がいろいろと異なってくると思われる。事務局ではどのような区分で立ち上げをしたらよいと考えているか。
- (事務局) 小学校区が基本ではあるが、地域の状況によっていろいろと考えられるし、また、何に取り組むかによって異なってくると思われる。その取り組む事項により、その範囲での地域区分を検討すべきだと考える。
- (委員) 泉町では下岳・柿迫・栗木・五家荘の4つの区分が良いのではないかと考えられるが如何か。
- (事務局) 1つの例として捉えられるが、今後住民の方々に検討していただきながら、地域区分を決定していただくことになる。
- (委員) 住民自治組織を作る場合には、人材確保についても同時に検討していく必要があると思う。
- (会長) 他に意見等はないか委員に問う。
- (委員) なし。
- (会長) その他について、事務局に問う。
- (事務局) 支所における日直業務の変更について説明をなす。
- (会長) 事務局の説明について、意見・質問等はないか問う。
- (委員) 日直を置かないこととした理由は何か。また、機械式とはどういうことか。
- (事務局) 日直時における届出件数や、問い合わせ件数の減少及び経費の削減が理由である。また、機械式とは現在も夜間に実施しているセンサー式による機械警備のことである。
- (委員) 電話による問い合わせ等には、どのように対応する予定か。
- (事務局) 本庁への転送や、留守番電話での対応を予定している。
- (委員) 観光案内については、どのように考えているか。
- (事務局) 観光協会・インストラクター協会とも協議しながら、ふれあいセンターいずみでの対応を考えていきたい。
- (委員) 災害時等において、地域を知らない本庁職員で対応できるのか。

- (事務局) 7月の豪雨における坂本・東陽での簡易水道の支障にも、本庁から支所担当者への連絡を行い対応しているので心配ない。
- (委員) 災害時におけるマニュアル作りや、それに沿った住民参加の訓練も必要ではないか。
- (事務局) 自主防災組織の設立を促進し、消防団との連携を深めるなどしながら対応していきたい。
- (委員) 鏡支所における日直対応は嘱託職員ということであるが、個人情報保護の面から問題はないか。
- (事務局) 嘱託職員も市の管理下にあり、一般職員同様に重要性を認識させる。他市町村等においても同様である。
- (委員) 支所として大丈夫だと思うか。
- (会長) この件に関して、他に意見等ないか委員に問う。
- (委員) なし。
- (会長) その他の件について、意見等ないか委員に問う。
- (委員) 第三セクターであった株式会社氷川があのような結果になって残念ではあるが、株式会社いずみの経営状況と今後の対応について、どのように考えているか。また、利用者等の意見を聞きながらの対応をお願いしたい。
- (事務局) 株式会社いずみは平成18年度において単年度赤字となっており、経営状況は厳しい状況にある。利用者を含めた経営改善委員会を設置し、状況転換を図っているところである。利用者の増加を図り、売上を伸ばすことが最重要課題であることから、まず、地域の方々の利用促進をお願いしたいと考えている。
- (会長) 他にないか委員に問う。
- (委員) なし。
- (会長) 次回開催予定について、事務局に説明を求める。
- (事務局) 次回開催は12月下旬から1月中旬の予定である旨説明する。
- (会長) 第7回泉地域審議会の閉会を宣する。